



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月26日

上場会社名 株式会社キャリアデザインセンター 上場取引所 東
 コード番号 2410 URL http://cdc.type.jp/ir/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 多田弘實
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画局長 (氏名) 西山裕 TEL 03-3560-1601
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	5,881	12.4	403	4.8	409	6.2	272	8.5
2018年9月期第2四半期	5,231	12.0	384	△13.0	386	△13.3	250	△14.9

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 274百万円 (8.4%) 2018年9月期第2四半期 252百万円 (△14.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	40.50	40.32
2018年9月期第2四半期	37.50	37.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第2四半期	5,707	3,906	67.2	571.08
2018年9月期	5,610	3,881	67.9	567.41

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 3,837百万円 2018年9月期 3,809百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年9月期の連結財政状態は、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2018年9月期期末配当の内訳 普通配当38円00銭

2019年9月期期末配当の内訳 普通配当40円00銭 特別配当5円00銭

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,140	10.6	1,000	△14.3	1,000	△14.5	690	△14.0	102.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	7,054,400株	2018年9月期	7,054,400株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	333,828株	2018年9月期	339,810株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	6,718,236株	2018年9月期2Q	6,684,155株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年10月1日～2019年3月31日)における我が国経済は、世界経済の影響等により依然として先行き不透明な状況が続いているものの、各種政策を背景にした企業収益の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しております。雇用情勢は、企業の採用意欲が引き続き活発であり、2019年2月の有効求人倍率は1.63倍と高い水準を維持しております。

このような状況において、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は計画を上回る着地となりました。特に、メディア情報事業におきましては、前期に応募効果が減少したことから売上高の伸びが鈍化したものの、2019年1月より新たなイメージキャラクターとしてオードリーの春日俊彰さんを起用した広告宣伝キャンペーンを実施したこと等により、新規会員獲得、及び応募効果は改善傾向を示しており、メディア情報事業の売上高は計画を上回る結果となりました。一方、支出面においては、当初の計画通りに広告宣伝や『type』強化施策等に投資を行いました。が、全社的にその他のコストは抑制したため、経常利益は計画を上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、5,881,518千円(前年同四半期比12.4%増)、損益については、営業利益403,002千円(前年同四半期比4.8%増)、経常利益409,786千円(前年同四半期比6.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益272,062千円(前年同四半期比8.5%増)となりました。

なお、2019年1月より転職サイトの名称を『@type』から『type』へと変更しております。

<事業の種類別の業績>

当社グループは人材サービス事業の単一セグメントでありセグメント情報の記載を省略しているため、事業の種類別に記載しております。

①メディア情報事業

メディア情報事業は、Web求人広告・適職フェア等の商品・サービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は順調に推移いたしました。マーケット別では、「エンジニア」マーケットの売上高が前年同期比10.6%増と引き続き回復基調を示しております。一方、「女性」マーケットは同1.2%増、「営業」マーケットは同0.8%増となりました。また、2019年1月より実施しております広告宣伝キャンペーンに加え、『type』におけるAI機能の実装、SEOの強化などの諸施策を実行したことにより、新規会員獲得や応募効果などの指標も順調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるメディア情報事業の売上高は、2,461,887千円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

②人材紹介事業

人材紹介事業は、ご登録頂いた求職者の方に最適な求人案件をご紹介します登録型人材紹介を運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては「エンジニア」「女性」マーケットの売上高が堅調に推移いたしました。また、登録面に関しては、市場競争の激化により人材の獲得が厳しい環境が続いているものの、各種経路からの登録獲得を強化することで、新規登録者数は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における人材紹介事業の売上高は、1,283,423千円(前年同四半期比10.6%増)となりました。

③新卒メディア事業

新卒メディア事業は、新卒者を対象とする就職イベント・情報誌等の商品・サービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、2020年卒業予定の学生を対象としたイベントを東京・関西にて開催し、順調に拡販いたしました。また、求人企業の個社別の採用ニーズに合わせた個別セミナーの販売が順調に推移いたしました。一方、集客面におきましてはイベントを複数回開催し、いずれも順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における新卒メディア事業の売上高は、177,066千円(前年同四半期比13.9%増)となりました。

④新卒紹介事業

新卒紹介事業は、ご登録頂いた学生の方に最適な新卒採用案件をご紹介します登録型新卒紹介を運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、2019年卒業の予定の学生の成約件数が前年を大幅に上回る結果となりました。また、2020年卒業予定の学生登録も順調に獲得できており、成約件数も前年を大幅に上回る形で推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における新卒紹介事業の売上高は、50,175千円(前年同四半期比64.3%増)となりました。

⑤ I T派遣事業

I T派遣事業は、当社にご登録頂いた登録者の中から、求人企業の採用ニーズに最適な人材を派遣する一般労働者派遣を運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続き強みとする「エンジニア」マーケットを中心に案件獲得を強化したことにより、派遣スタッフの新規稼働人数は順調に推移いたしました。また、派遣スタッフの離脱も抑えられたため、派遣スタッフの稼働人数は増加いたしました。また、登録者獲得については、引き続き広告出稿を行うなど登録経路を強化したことにより、新規登録者は順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるI T派遣事業の売上高は、1,926,547千円（前年同四半期比24.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,531,077千円となり、前連結会計年度末に比べ64,353千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が109,142千円増加し、売掛金が80,170千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は1,176,256千円となり、前連結会計年度末に比べ32,173千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が46,280千円増加し、有形固定資産が5,179千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,627,416千円となり、前連結会計年度末に比べ72,824千円増加いたしました。これは主に未払金が130,823千円増加し、未払法人税等が40,108千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は173,908千円となり、前連結会計年度末に比べ1,244千円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が8,720千円増加し、長期借入金が9,996千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,906,008千円となり、前連結会計年度末に比べ24,946千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が16,907千円増加、自己株式が4,731千円減少、資本剰余金が4,413千円増加したことによるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ109,142千円増加し、2,942,011千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は、506,248千円（前年同四半期比212,848千円の収入増）でありました。これは、税金等調整前四半期純利益を409,786千円計上し、法人税等の支払による支出が177,953千円、未払金の増加による収入が101,780千円、減価償却費が124,713千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、138,570千円（前年同四半期比13,149千円の支出減）でありました。これは、無形固定資産の取得による支出が129,428千円、有形固定資産の取得による支出が7,342千円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、258,534千円（前年同四半期比10,834千円の支出減）でありました。これは、配当金の支払額が254,582千円、長期借入金の返済による支出が9,996千円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、2018年11月14日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,932,868	3,042,011
売掛金	1,426,662	1,346,492
その他	119,687	151,697
貸倒引当金	△12,496	△9,125
流動資産合計	4,466,723	4,531,077
固定資産		
有形固定資産	236,324	231,145
無形固定資産		
ソフトウェア	491,596	490,507
その他	19,881	67,251
無形固定資産合計	511,477	557,758
投資その他の資産	396,280	387,352
固定資産合計	1,144,082	1,176,256
資産合計	5,610,806	5,707,333
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,450	17,989
短期借入金	25,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	19,992	19,992
未払金	334,126	464,950
未払法人税等	193,560	153,452
賞与引当金	127,829	127,653
株主優待引当金	—	1,300
その他	832,631	817,079
流動負債合計	1,554,592	1,627,416
固定負債		
長期借入金	40,024	30,028
退職給付に係る負債	115,452	124,172
資産除去債務	19,676	19,708
固定負債合計	175,152	173,908
負債合計	1,729,745	1,801,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,663	558,663
資本剰余金	369,022	373,436
利益剰余金	3,154,517	3,171,425
自己株式	△269,291	△264,560
株主資本合計	3,812,912	3,838,964
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△2,966	△971
その他の包括利益累計額合計	△2,966	△971
新株予約権	71,115	68,014
純資産合計	3,881,061	3,906,008
負債純資産合計	5,610,806	5,707,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	5,231,312	5,881,518
売上原価	1,848,795	2,267,209
売上総利益	3,382,516	3,614,309
販売費及び一般管理費	2,997,802	3,211,306
営業利益	384,714	403,002
営業外収益		
受取利息	14	17
解約手数料	1,519	4,947
貸倒引当金戻入額	—	1,691
その他	326	485
営業外収益合計	1,859	7,142
営業外費用		
支払利息	424	283
為替差損	133	74
その他	0	0
営業外費用合計	557	358
経常利益	386,016	409,786
税金等調整前四半期純利益	386,016	409,786
法人税、住民税及び事業税	119,231	131,996
法人税等調整額	16,133	5,727
法人税等合計	135,364	137,724
四半期純利益	250,652	272,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	250,652	272,062

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	250,652	272,062
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	2,068	1,995
その他の包括利益合計	2,068	1,995
四半期包括利益	252,720	274,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,720	274,057

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	386,016	409,786
減価償却費	110,435	124,713
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,121	△1,691
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,138	△176
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,516	8,720
受取利息	△14	△17
支払利息	424	283
売上債権の増減額(△は増加)	8,417	78,496
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,730	8,395
仕入債務の増減額(△は減少)	△915	△3,461
未払金の増減額(△は減少)	39,136	101,780
その他	△39,028	△42,217
小計	503,701	684,610
利息の受取額	14	17
利息の支払額	△546	△426
法人税等の支払額	△209,769	△177,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,399	506,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,666	△7,342
無形固定資産の取得による支出	△110,253	△129,428
その他	△1,799	△1,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△151,720	△138,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△29,596	△9,996
配当金の支払額	△252,309	△254,582
自己株式の処分による収入	12,536	6,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,369	△258,534
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△127,689	109,142
現金及び現金同等物の期首残高	2,355,889	2,832,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,228,199	2,942,011

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年10月1日 至2018年3月31日)

当社グループは、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日 至2019年3月31日)

当社グループは、人材サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。